

New Topics

また進もう、前へ

～訪問看護ステーションと
居宅介護支援事業所が移転しました～



岩砂病院・岩砂マタニティ 受付時間のご案内 休診日：日祝日、12月30日～1月3日、8月15日

内科							
内科	月	火	水	木	金	土	受付時間
午前診	○	○	○	○	○	●	9:00～11:30
午後診	○	—	—	—	○	—	14:00～16:00
夕診	●	●	●	●	●	—	16:00～18:00

予約ダイヤル **058-231-2631**

○内科診察(事前予約も可能) ●内科診察(予約不可) ◎完全予約制
(予約受付時間/13:00～17:00)
※詳細は受付へお問い合わせください。

小児科							
小児科	月	火	水	木	金	土	受付時間
午前診	—	●◎	◎	—	●	◎	9:00～11:30
午後診	○	◎●	◎●	○	◎●	○	14:00～16:00
夕診	—	○	—	—	—	—	15:00～18:00

お問い合わせダイヤル **058-231-2631**

○小児科診察 ●予防接種 ◎ぶあぶ外来
(予約受付時間/9:00～12:00)
※詳細は受付へお問い合わせください。

婦人科							
婦人科	月	火	水	木	金	土	受付時間
午前診	○	○	○	○	○	○	9:00～11:30
午後診	○	○	○	△	○	○	13:00～15:00(月～金) 14:00～15:30(土)
夕診	○	○	○	—	○	—	17:00～19:00

婦人科予約専用ダイヤル **058-232-1777**

○婦人科診察(検診含) △検診のみ(一般の診察はおこないません。)
※婦人科は診察も検診も完全予約制となっています。
(予約受付時間/9:00～17:00) ※詳細は婦人科受付へお問い合わせください。

産科							
産科	月	火	水	木	金	土	診察時間
午前診	○	○	○	○	○	○	9:00～12:00 受付時間 9:00～11:30
午後診	○	—	—	—	—	○	13:00～16:00(月) 受付時間13:00～15:30 14:00～17:00(土) 受付時間14:00～16:30
夕診	○	—	—	○	○	—	17:00～19:00 受付時間17:00～19:00

予約専用ダイヤル **0120-038183**

(予約受付時間/9:00～17:00) ※詳細は産科受付へお問い合わせください。
産科専用玄関が病院西側にあります。
内科等他科の患者さんと接触がないよう配置されております。

ポリ袋で作る お麩の簡単おやつ

- 【材料】**
- お麩……………10g ●オリーブオイル ……10g
 - 黒糖(粉)……………10g

- 作り方 A**
- 1 ポリ袋にお麩を入れ、ポリ袋の口をなるべく大きくあけて、オリーブオイルを全体にかかるように流し入れます。
 - 2 ポリ袋の口を手で持ってシャカシャカと振り、オリーブオイルがまんべんなくつく感じにします。
 - 3 ②に黒糖を入れ、またシャカシャカと振りお麩全体に黒糖がついたら、アルミホイルに並べます。
 - 4 ③をオーブントースターで2～3分焼き、皿にのせます。

- 【材料】**
- お麩……………10g ●オリーブオイル ……10g
 - きな粉……………10g ●黒糖 ……5g

- 作り方 B**
- 作り方 A の黒糖にきな粉を混ぜて作ります。

- 【材料】**
- お麩……………10g ●溶かしバター ……15g
 - グラニュー糖……………10g

- 作り方 C**
- 作り方 A のオリーブオイルを溶かしバター、黒糖をグラニュー糖に替えて作ります。



- Point**
- オリーブオイルや溶かしバターをお麩全体にしっかり絡めることでカリッとした仕上がりになります。
 - お麩は小さめの焼き麩の方が油が絡みやすくなります。
 - お麩の種類にはカルシウム強化を謳うものなどもありますので、色々なお麩で作ってみるのも楽しいです。
 - ポリ袋でシャカシャカと振る部分をお子さんにやってもらうと一緒に楽しめます。
 - 文化麩などの少し大きめのお麩は、オーブントースターに並べて2～3分焼き、焼き目がついたら取り出し、溶かしておいたキャラメルやチョコレートを絡めても、美味しく食べられます。

友愛会HP



編集後記

今年最後の「友愛会だより」(56号)をお届けしました。お読みいただきありがとうございます。早いもので、今年もあと1か月となりました。トピックスでお届けした「移設」より1年が過ぎました。時代の流れに合わせて、一歩ずつ地域の皆さまのお力添えになればと願っております。ぜひ、お気軽にお声をかけてください。ぜひ一緒に安心できる街づくりを。この場を借りて取材に協力して下さった皆さまにお礼を申し上げます。そして、今後とも「友愛会だより」をよろしく願っています。(S)



こんにちは! よろしくお願ひします。



医療連携相談部

昨年11月より、相談窓口の場所が変わりました。かつて自動販売機やテレビカードの精算機があった場所へ新たに引っ越ししています。医療連携相談部では看護師、社会福祉士、事務員が医療や介護に関する患者様からのご相談をお受けしております。

今回、ケアマネジャーや訪問看護ステーションの皆さんが病院内に引っ越しされたことで、今まで以上に在宅でサポートしている事業所の皆さんと、患者様のご様子や、困り事など相談・情報共有が気軽にできるようなりました。

今後も皆様の生活に寄り添えるよう、事業所のスタッフとスムーズな連携を進めていきたいと思ひます。



〈5F〉



※5階は管理棟につき出入り出来ませんので、ご用の方は1階受付にてお声掛けください

〈1F〉



「友愛会」は昨年秋に「医療と福祉の連携強化」さらにパワーアップしました

昨今のわが国での大きな変化として、高齢者世帯の増加、認知症患者の増加、超高齢社会から多死社会への変化が始まりつつある中で、「治す医療」から「支える医療」に大きくパラダイムシフトが進み、在宅医療の重要性が年々増えています。



在宅医療・看護・介護へのニーズも高まり、医療ニーズの高い状況で在宅療養に移行される患者さんが増加してきています。在宅での看取り、住み慣れた地域で安全・安心に暮らしていきける地域づくりを推進していく上で、「友愛会」の担う役割も、増大しております。また、変化しているのは医療提供の場だけではなく、増大していません。家族構成や健康問題、価値観などが多様化し、さらに複雑化してきています。地域住民のさまざまなニーズを受け、「友愛会」に対する期待はますます高まってきています。

昨年秋、「友愛会」は地域において在宅医療を支える24時間の窓口として、他の医療機関や福祉サービスと連携を図りつつ、訪問診療や訪問看護などを提供すべく体制を強化しました。併せて、在宅医療支援としての「岩砂訪問看護ステーション」と在宅介護支援としての「岩砂介護保険支援センター長良」の事務所が岩砂病院・岩砂マタニティ内へ移転し、さらにパワーアップしました。

お困りごとについて本音で相談していただけるような信頼関係を第一に、医療と介護福祉サービスのシームレスケアの提供により、地域の皆様のお力になっていきたいと考えています。友愛会の一步、「医療と福祉の連携強化」に、乞うご期待ください。

岩砂介護保険支援センター長良 (居宅介護支援事業所)

昨年11月に、「岩砂訪問看護ステーション」と一緒に岩砂病院・岩砂マタニティへ移転しました。事業所は、1階総合受付の東横になります。移転をしたことで、病院や訪問看護の皆さんと円滑に連絡調整が進むようになっていきます。また、来院時には患者様や地域の皆様より生活や介護での相談をいただく機会も増えていきます。ちょっとしたことでも、お気軽に声をかけてください。ぜひ一緒に考えていきましょう。

引き続き、医療と介護福祉の「切れ目のない支援」を通して、住み慣れた地域で一人ひとりの暮らしへの、お力となるよう安心できる生活へのお手伝いをさせていただきます。よろしくお願ひします。



岩砂訪問看護ステーション

昨年11月に、当事業所が「岩砂病院・岩砂マタニティ」内に移転しました。同時に、「岩砂介護保険支援センター長良」も一緒に移転しています。事務所は、5階フロアの真ん中辺り、以前法人企画部があったお部屋です。

移転したことにより、病院内の様々な職種の方と連絡・調整がしやすくなったと感じています。他部署、他職種の方との連携を速やかに密に行うことで、利用者さんのニーズに添った、より質の高い看護やリハビリの提供につながります。

今後も、医療・介護の専門的な立場から、地域の皆様に住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、支援させていただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



いただいたご感想を紹介します!

患者さん・利用者さんの声

- 受診時に、顔が見えるようになりました。
- ちょっとした事など、伝えやすくなりました。
- 待合室で声をかけてもらえてうれしかったです。
- 前担当のケアマネさんと、久しぶりに話ができてうれしい。
- 利用者さん、患者さんとふれあう事ができるようになり、新たに気付く事ができています。

職員の声

- 他部署と話を交わす、共有する機会が多くなりました。
- 病院連携(受診予定など)が行いやすくなりました。
- 入退院時の連携が、スムーズになりました。
- 今まで電話での関わりだったが、直接会って話せる事がうれしいです。
- 本部との連携がスムーズになりました。

居宅介護支援センターの主な業務内容

介護でお困りことはございませんか?

- ①ご相談・お問い合わせ
まずはお気軽にご相談ください。
- ②ご訪問
ご本人・ご家族の状況を介護支援専門員(ケアマネジャー)が聞き取りし、適切なプランをご提案します。
- ③要介護申請・認定
介護保険の申請手続きから代行いたします。介護サービスをご利用するには、市に申請をして要介護、要支援認定される必要があります。
- ④ケアプランの作成・ご契約
ご本人に合った居宅介護サービス計画(ケアプラン)を作成いたします。
※ご利用者さまの費用負担はございません。個人情報厳守します。
- ⑤介護保険サービスのご利用
サービス事業者との連絡調整や、介護保険施設の紹介等を行い、作成したプランを元に、介護保険サービスをご利用いただけるようにします。
- ⑥月に一度訪問して、状況を把握し、サービス内容を見直します
- ⑦その他、要介護者等の自立に必要な援助など

訪問看護ステーションの役割・機能

訪問看護ステーションは、訪問看護師とリハビリスタッフが、療養者さんのご自宅に訪問し、看護やリハビリテーションを提供していきます。

当事業所には、看護師とリハビリスタッフ(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)が在籍し、それぞれの職種が専門的な視点から、療養者さんやご家族様が必要とされるケアを汲み取り、他職種と協働しながら支援を提供させていただきます。

対象となる方は、産まれたばかりの赤ちゃんから高齢者まですべての年齢の方を対象としています。疾患についてはすべての領域の方を対象としています。

疾病や障害を抱えながらも、療養者さんが住み慣れた地域で笑顔で自分らしく暮らし続けることができるよう、病状観察はもちろん、医療的ケアやリハビリテーションの提供、生活指導や介護相談をしながら支援させていただきたいと思っております。

〈訪問看護〉(電話)058-2333-8006

医療連携相談部とは

医療連携相談部では医療や介護など様々なご相談がいただける窓口です。

病気になると健康な時には思ってもみなかった問題が色々起きます。そのような時、患者様のお身体の状態や、家族の有無、経済状況など様々な条件に応じた、適切な制度やサービスの案内をさせていただきます。

また、限りある病床を効果的に使っていたただけるよう病床コントロールを行うことも私たちの大切な役目となっています。急性期病院や近隣のクリニック、またはケアマネジャーなど関係機関の皆様からの入院相談をスムーズに入院へ繋げられるよう調整させていただいております。

その他にも当院の設備を近隣クリニックにご利用いただくことも多く、検査依頼(MRI、CT、胃カメラ、大腸カメラ)を当部署で受け付けることも担っております。

医療連携相談部は患者さんのみならず、地域の関係機関の皆様など多くの方にとって「病院の窓口」として日々活動しております。

〈医療連携相談部〉(電話)058-2971-4760

看護部通信

地域の皆様に愛される内科外来を目指しています

内科外来

外来看護師の役割は、外来診療補助、検査、処置介助、自己注射指導、疾患や生活に対する指導、在宅支援、退院後の継続看護、救急対応などがあります。

普段、私たちは「何らかの症状」が出てから病院に行き、病気の治療を行います。近年注目されている医療のひとつに「予防医療」というものがあります。

予防医療が注目されるようになった背景には、日本の抱える「超高齢社会」の問題があり、超高齢社会では「健康寿命を伸ばす」という取り組みが大切です。

予防医療の3つのステップ

①一次予防

がんや高血圧、糖尿病などにならないように、バランスの良い食生活、適度な運動などを心がけて健康的な状態を保ち、予防接種などで危険な病気から守るようにつとめます。

②二次予防

定期検診や人間ドックなどでがんや糖尿病、高血圧などの病気のリスクを早めに発見し、早期に取り組み

③三次予防

専門的な治療で病気の進行や症状を抑え、リハビリで回復や再発防止を促し、QOLの維持を図る

「予防医療で、健康寿命を伸ばし、個人も社会も元気になる!!」

当院でも、各種予防接種、特定健診、人間ドックなどを行なっています。お気軽にご相談ください。

内科外来は、病院を退院し自宅で療養する方、治療のために通院する方などが訪れる場所です。患者さんそれぞれの生活様式に合わせた支援を多職種や訪問看護と連携して行なっています。

専門外来

医師・看護師・栄養士・薬剤師・理学療法士・検査技師・放射線技師の多職種でチームを組んで患者さんを支援しています。

診療および生活指導、栄養指導、運動指導、薬剤指導などを提供しています。

糖尿病外来

近年、成人の5人に1の方が糖尿病。特に糖尿病外来では、血糖コントロール不良患者さんを対象に医師の指示のもと指導介入を行ない、患者さんが備えている「自己管理能力」を最大限に引き出すためにチームで介入し、継続看護を行なっています。

当院は、産科もあり妊娠糖尿病(GDM)患者さんに対しても産科との連携

連携により妊娠中から出産後の血糖管理も行なっています。

岐阜県糖尿病療養士を看護師2名、検査技師2名が取得しています。

また、当院の内科外来には心不全療養指導士が在籍しております。高血糖は心臓の筋肉に直接ダメージを与え、心臓のポンプ機能を低下させることで心不全を引き起こすことがあるため、動脈硬化の改善や予防についてもご相談承ります。

発熱外来

新型コロナウイルスは、様々なところに影響を及ぼしていますが、当院でも来院患者さんに対して外来受付で検温、手指消毒を励行しています。なお発熱患者さんは別室対応で診察を行ない感染防止に努めています。一般患者とは分けて診察することで、安心して受診いただけると思います。

発熱での受診の際は、連絡してから来院してください。



糖尿病教室

「食」から暮らし(QOL)を考える ～バイキング・うなぎの蒲焼実演～ 想い出の食べ物を通じた支援

山県グリーンポルトでは、「食」に関する様々なイベントを企画しています。年に1回、食事バイキングを企画、直近では6月に実施しました。バイキングでは沢山の料理がテーブルに並び、利用者さんは悩みながらも、ご自分の食べたいものを選び取っていかれました。にぎやかな雰囲気の中、普段とは違う柔らかな利用者さんの表情にスタッフも嬉しくなっていました。

また同日、近隣のケアマネジャーさんをお招きし、試食会を企画しました。グリーンポルトでどんな食事が提供されているか、食事に対しての取り組みについてご理解を深めて頂きました。

7月には、トーカーさん(給食委託会社)の協力のもと、うなぎをグリーンポルト中庭で捌き、炭火焼きの匂いをみなさんに届けました。お昼にはうなぎ丼をデイケアの利用者さん、入所者さんへ提供し喜んで頂きました。

利用者さんの中には、意欲の低下や認知症の進行から、食事が減ってしまう方もおみえです。生命の維持にも大きなリスクとなるため、グリーンポルトでは管



▼うなぎの炭火焼き



▲食事バイキング

▲試食会

社会福祉法人友愛会 特別養護老人ホーム

山県グリーンポルト

約5年ぶりに施設内移動販売を再開しました。入所されている利用者さんは、事前にチラシを見て、今か今かと大変楽しみにされていました。いざ当日を迎えると、施設内でお店の準備として、商品を並べているそばから利用者さんの行列ができていました。

商品を並び終えると、順路に沿って利用者さんが回ります。気になったチョコやおせんべいなど、どんどん買い物カゴに入れる方や、何周も回ってどれにしようかと吟味した結果、1つだけ大事そうにカゴに入れる方など、思い思いの楽しみ方をされているようでした。



普段は車椅子に座ったままで、あまり自走されない利用者さんも、商品を目にする、車椅子を自走して、笑顔で商品を手取る様子がみられました。そんな利用者さんの姿を見て、職員も一緒に笑顔になるひと時を過ごせました。コロナ禍ではしばらく行動やイベントが縮小され、利用者さんは制限された生活を送らざるをえませんでした。今回、施設内移動販売を行えたことで、利用者さん一人ひとりがとてもいきいきとした表情となり、楽しんでもらえたと感じました。今後も利用者さんの元気が出るような取り組みを行っていきます。

